

TAKURA WATCHING

今月も町の話が盛りだくさん！

3



3 黄色い玉を狙え

2月3日(日)、海洋センターで「第14回板倉町スポーツ少年団ライオンズカップレクリエーション大会」が行われました。サッカー、ミニバス、野球、バドミントンなど種目が異なるスポーツの24チームが参加して、二チレクボールで競いました。今年度は野球チームの「わかじしA」が優勝しました。



4

4 幸せを願って

2月3日(日)、雷電神社で毎年恒例の節分祭と豆まき式が行われました。これは季節の始めに邪気を払って、家内安全や無病息災を願うために行われたものです。

今年は豆まき式の前に、稲妻太鼓愛好会の皆さんによる和太鼓の演奏があり、訪れたかたたちから拍手と歓声が上がりました。



5

5 イッツ・ショータイム!

2月17日(日)、中央公民館で第12回板倉マジッククラブの発表会が行われ、約450名のお客さんが集まりました。

プログラムの合間に行われたチャリティタイムで会場から集められたお金は社会福祉協議会へ渡されました。数々の華やかなマジックが出る度に観客は喝采を送りました。



6

6 地域みんなで支える

2月20日(水)、中央公民館で老人クラブ会員を対象に認知症サポーター養成講座が行われました。NPOお互いさまネットワーク理事長の恩田初男さんを講師に迎え約70名が参加しました。恩田さんは「認知症は誰でもかかる可能性があり、その数は増加傾向。地域で支える姿勢が重要」と話しました。



1

1 町活性化へ前進

2月3日(日)、東洋大学板倉キャンパスで賀詞交歓会が行われました。これは町と町内各種団体及び企業関係者などが相互の理解と親睦を深め、より活気に満ちたまちづくりの実現に向けた情報交換、意見交換の場として開催されたものです。

2部構成で行われた賀詞交歓会、1部では日本ピストリング株式会社の常勤監査役で工学博士の小野田元伸さん(飯野)を講師に招いて講演していただきました。小野田さんは「世界の環境問題と自動車の行方」と題して、自動車の部品を製造するという視点から環境問題を捉えた内容の講演をしました。約200名のかたがたが世界の第一線で物づくりに関わってきた小野田さんの講演に耳を傾けました。

第2部では、日頃さまざまな角度から町を支えていただいているかたがたが一堂に会しました。普段交わす機会の少ない情報交換や意見交換が行われ、これからの町の活性化につながる貴重なひとときとなりました。



2

2 14歳、節目の式典

2月13日(水)、板倉中学校体育館で立志式が行われ、14歳になった板中2年生131名が式に臨みました。生徒代表として茂木菜々可さん(朝日野)は、「自分の意思を持って真正面から物事に向かっていきたい」と話しました。卒業生の講演では東洋大学講師の麦倉沙耶子さんが学生時代の思い出話を交え、勉強方法などを紹介し「人生を楽しむには努力が必要」とエールを送りました。